# GTEC通信 vol.85

# 「生徒が使える」CAN-DOリストで、 生徒の学ぶ意欲を引き出す

### 猪苗代町立東中学校



猪苗代町立東中学校は、2012年に文科省の 「英語力を強化する指導改善の取組み」にお いて、拠点校に指定された。 近隣の中学校4校と連携し、CAN-DOリストを 活用した授業を実践されている。 2014年度から「英語教育推進リーダー」とし て県から推薦を受けられた、英語科 渡部 真喜子 (ワタナベ マキコ) 先生にお話を 伺った。

## 英語科 渡部 先生インタビュー

### 地域と連携したCAN-DOリスト作成 拠点校・協力校の取り組み

<u> ベネッセ</u> 貴校では拠点校事業をきっかけに地域 でCAN-DO(資料1)を作成されていま すが、CAN-DO作成のポイントを教えて ください。

### 渡部先生

2012年に文科省の「英語指導力向上事 業」において、本校が拠点校に指定さ れました。本校を拠点校として、会津 地区の中学校4校、2013年からは小学 校3校も協力校となり、「CAN-DOリス トを活用した授業展開」についての実 践研究が始まりました。どのような英 語力をつけて卒業させるか、その時点 での理想となる生徒をイメージして、 そこから逆算型でアプローチします。 目標に到達するためには、各学年でど の程度の英語力を身につけさせなけれ ばならないのかを具体的に考えていき ました。

また、学習指導要領と教科書、CAN-DO リストにつながりをもたせるために、 教科書で設定されている評価基準を指 標のベースにしています。

### こだわりは「生徒が使える」 CAN-DOリストを作ること

何より大事にしたことは、「生徒が使え

渡部先生

るCAN-DOリスト」を作るということです。 抽象的すぎたり、文法項目など指導内容 が詳細すぎたりすると、指導者・学習者 ともに理解することができません。実際 に学習者が使って有益であること、学習 者の学びの姿を通して、教師が授業の改 善につなげられるものでなくてはならな いと考えたので、生徒が使うことを想定 して作りました。「生徒が使える」ため には、生徒の実態にあわせたCAN-DOリス トを作る必要があります。それぞれの中 学校、学年によって、学力やパーソナリ ティといった生徒の様子は異なります。 受け持つ生徒の様子を想定しながら、作 るのがポイントかと思いました。 本校が拠点校でしたので、CAN-DOリスト の叩き台を作り、前述の外してはならな い作成のポイントを協力校の中学校4校 に共有、連携しながら作成を進めていき ました。適宜、中学校5校でTV会議シス テムを利用して情報交換やフィードバッ クをおこないながら、学校独自のCAN-DO リストを作成しました。

### 「生徒が使える」ために、 Lesson毎にチェックシートを作成

ベネッセ

「生徒が使える」CAN-DOリストとは具 体的にどのようなものでしょうか。

渡部先生 CAN-DOリストは指導者だけではなく、 学習者である生徒にとって使えるもの でなければならないと考えていますの で、生徒が理解しやすいように、「教 科書のLessonと各技能を関連付けたリ スト」と「各LessonのCAN-DOチェック シート」を作成しました(資料2、3、 4)

> 本校では、技能を「聞くこと」「話す こと」「読むこと(音読)」「読むこ と(内容理解)」「書くこと」の5つ に分類しています。

> そして、CAN-DOが教科書のどの部分に 該当するのかわかりやすいように、各 Lessonの象徴的なイラストを挿入して います。

このチェックシートを活用することで、 生徒は各Lessonでなにを身につけなけ ればならないのかを理解することがで きるようになりました。

### チェックシートでの自己評価が 学びの動機づけにつながる

ベネッセ CAN-DOリストを活用して、生徒・教員 にどのような効果がありましたか?

渡部先生 チェックシートで自己評価をさせたこ とが、学びへの動機づけになっている と感じます。チェックシートには、各 CAN-DOに自己評価の欄を設けています。 生徒はそのときの理解度、定着度を自 己評価します。単純な数値化より、さ らに生徒に身近に感じさせることがで きるよう、評価の指標部分にイラスト を使用しました。その方がより生徒の その時の感情に近い反応が得られると 判断した為です。このチェックシート はCAN-NOT-DOリストになってはダメで、 CAN-DOを実感できる仕掛けが必要です。 このシートは、復習もかねて複数回、 授業で活用しますので、推移で記録し、 徐々にレベルが上がっていく実感、喜 びをもてるようにしました。それが次 の授業への動機付けにつながればと考 えています。

### 何ができるようになったかを気づかせる ``What more can you do?``の自由記述欄 の工夫

渡部先生

生徒から評判が良かったものは、

「What more can you do?」の自由記述 です。「前回の授業で教わった単語を使 えるようになった」「教科書の内容理解 が深まった」など、こちらが想定してい たCAN-DO以外にも生徒はできるように なった実感をもっている様子がわかりま した。

また、生徒からの「CAN-DOリストは感動 (CANDO) リストです」という言葉が印 象的でした。生徒たちが「これまで学ん だこと覚えている。覚えているか、覚え ていないかがわかる。感動しますよ!」 と言ってくれ、とても嬉しかったです。 CAN-DOリストは、私たち教員がどのよう な授業をして、生徒はなにを学び、なに を感じたか、多くのことに気づかせてく れるリストだと思います。

### GTECのライティングを通じて、読み 手を意識して表現することの大切さ に気付く

拠点校に指定されてからGTECを受検され ていますが、どのように活用しています カ?

渡部先生

GTECは拠点校として指定されてから、12 年度は中1・2学年、13年度は全学年で、 1年間の学習の総まとめとして実施して います。

生徒はGTECを定期テストと同じと捉えて いません。定期テストよりGTECは難しい とわかっていますがチャレンジできるよ うになってきている実感もあるようです。 特に、エッセーライティングの採点の考 え方は学習者の励みになります。

たとえば、たくさん文章を書いた生徒の スコアが70点で、その半分の量しか書い てない生徒のスコアが90点だった場合、 その違いはどこにあるのだろうと生徒は 考えるようになりました。スコアの差と して表れているのは「読み手が書きての 心情や状況を想像できるか、感じ取るこ とができるか」ということがポイントで あると認識させました。表現者として 「読み手への配慮や姿勢」が大事だと気 づいてくれたことは大きな成果でした。

### GTECを機に、定期考査の見直しにも 着手

渡部先生

また、GTECを実施するようになって、 定期考査も見直しました。これまでは 和文英訳などが中心でしたが、本当に 英語の表現力を測っているのか?とい う点に課題がありました。 定期テストの配点には上限があるため、

点数や順位には反映されないが、評 価・評定の「表現」の部分の一部に加 味することを周知した上で、英作文の 問題を出題しました。表現力(相手に 伝わる力)を4段階に別評価しました。 今では、GTECのエッセーライティング のように、「好きな言葉について書き なさい」など1つのトピックを与えて、 自由に書かせています。すると、生徒 たちには好きな理由だけではなく、そ う思うに至った背景や、生徒独自の感 性など、ストーリーを書いてくれるよ うになりました。

### CAN-DOをベースにした 「英語で学ぶ」指導への移行

ベネッセ CAN-DOリストをもとに、どのような指導 改善に取り組まれていますか?

渡部先生

「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」への 移行を意識しています。

まず、生徒たちは教科書、ノート、ワー クブック、スピーキング教材などを用い て、語彙、文法の基本事項を学びます。 今回のLessonで学ぶ表現、CAN-DOを押さ えてから、本文の内容理解に入ります。 教科書の本文を訳読するのではなく、

「筆者の主張は?」「この文言は読者に どのような意識をもたせる?」「この段 落の要約は?」「もし、あなたがこの物 語の主人公ならどう感じる?」など、

「英語で」本文の内容理解を深めていま す。生徒も「英語」で国語の授業を受け ているような感覚をもっているようです。 このような活動から、CAN-DOチェック シートの自由記述に「落語のことについ て、より理解が深まった」など、内容理 解の深まりをCAN-DOとして認識してくれ る生徒も現れてきました。

### 英語教育推進リーダーの研修を経て、 更に授業のブラッシュアップを継続

渡部先生

今年からは「英語教育推進リーダー」と して指名いただいたため、6月につくば 市で行われた中央研修に参加しました。 それを受けてからは、All Englishを導 入して、イントロダクションはすべて英 語にするなど、授業内容をブラッシュ アップしています。

生徒たちも、私が推進リーダーとして研 修に参加していることを知っていて、新 しい取り組みも「自分たちのためにトラ イしてくれている」と理解してくれてい ます。

生徒たちの理解と協力、向上心が本研究 を大いに支えています。前向きに学習に 励む生徒たちの英語力向上に寄与するよ う努めています。生徒たちのおかげで、 授業が発展していると感じます。

# 【資料1】猪苗代町立東中学校 CAN-DO STATEMENT

4 猪苗代町 ムが、 自然が、歴史と文化が、 者苗代町 ムが、 自然が、 歴史と文化が、 まいて未来が解ぐ落唐代	3学年(K9)	技を聞き(①自然な口調で話されているまとまりのある英語を聞いて、内容や大切な部分を正確に聞き取ることができる。 ○必要に応じて「聞き返し」をしながら、話し手(ALTなど)の伝えたいことを理解することができる。	①与えられたテーマやトピック、事実について、原稿を準備するなど。 ①与えられたテーマやトピック、事実について、その場で考えをまと 考える時間を少しおいた後に正しい英語でスピーチすることができ。めて正しい英語で簡潔にスピーチすることができる。(原稿無し) る。(原稿あり) ②自分の考えや気持ち、聞き手を意識し、正しく伝えることができ。「して伝えることができる。 ③自分の考えや気持ちを、聞き手を意識し、正しく伝えることができ。して伝えることができる。 る。 ③聞いたり誌んだりしたことについて、つなぎ言葉などをつかいなが、葉をつかうなど話を続ける工夫をしながら、問答したり意見を述べきる。 も、話し手(ALTなど)と問答したり意見を述べあったりすることがで 合ったりすることができる。	ながら (①3年生の教科書本文を、発音やイントネーション、リズムに気をつけて、気持ちを込めて音読することができる。	情かれ ①260words程度の英文を60wpm以上のスピードで読み、書かれている内容をとらえることができる。 ながら ②感想や賛否、その理由などを示す目的を持ちながら英文を読み、書かれた内容や書き手の意図を理解することができる。 じるか ③手紙などを読んで、書き手の意向を正しく理解し、書き手の意向をくんで適切に応じることができる。	Lのつ ①様々なことについて、5文以上の文のつながりのある文を辞書や 補助教材なしで即興で、読み手が理解しやすいように工夫しながら にと書くことができる。(辞書なし) 正しく書くことができる。(辞書なし) ②与えられたテーマやトピック、事実について、自分の気持ちや考 さ女文 えが正確に伝わるように、文と文のつながりを意識して書くことがで きる。 ③聞いたり読んだりしたことについて、簡潔にまとめたり、感想や賛 否やその理由を書くことができる。
CAN-DO STATEMENT for HIGASHI J.H.S. ( K7-K9 ) Ver.2014 INAWASHIRO, FUKUSHIMA, JAPAN	2学年 (K8)	①自然な口調で話されている短い英語を聞いて、大切な情報を聞き取ることができる。 ②話し手(ALTなど)の伝えたい内容を、適切にあいづちをうつなど して理解することができる。			①160words程度の英文を50wpm以上のスピードで読み、書かれている内容をとらえることができる。 ②物語やエッセイなどで、登場人物や書き手の心情を推測しながら誘むことができる。 ③手紙などを、書き手の言いたいことを意識し、どのように応じるか考えながら読むことができる。	①身近なことや出来事について、読み手を意識して、4文以上のつながりのある文を正しく書くことができる。(辞書あり) ②様々なことについて、自分の考えや感想を理由をつけて書くことができる。 ③聞いたり読んだりしたことについて、メモをとったり、簡単に英文でまとめたりすることができる。
ふくしまから はじめよう。 Futura Freen Futuralines.	1学年(K7)	<ul><li>①なじみのある表現を聞いて、理解することができる。</li><li>②なじみのある質問やあいさつなどを聞いて、適切に対応することができる。</li></ul>	<ul><li>①自己紹介や他についての紹介を原稿を見ながらスピーチをすることができる。</li><li>②今の自分の気持ちや状態を、相手に正確に伝えることができる。</li></ul>	<ul><li>①1年生の教科書本文を、英語らしい発音に気をつけながら、ゆっくりでも音読することができる。</li></ul>	①120words程度の英文を40wpm以上のスピードで読み、書かれている内容をとらえることができる。 ②英文を読んで、おもしろかったところはどこか、大切な部分はどこなのかを考えながら読むことができる。 ③手紙などを読んで、書き手の言いたいことを理解することができる。	①身近なことや出来事について、3文以上のつながりのある文を正しく書くことができる。(辞書あり) ②グリーティングカードの場合のように、形式にならって短い英文を書くことができる。 ③間いたり読んだりしたことについて、単語程度でメモをとることができる。
		イン層	話すこと	読むこと 【音読】	読むこと 【内容理解】	イニン無

( <del>\</del>	n-I	റ	Statement for Higashi Junior High Schoneword
中			awashiro, Fukushima, JAPAN Ver.2014
зкитз	LESSON		3 学年 (for 9 <sup>th</sup> Graders: K9 ) NEW C
話すこと	L1		自分の好きなことやものについて、英語で適切にスピーチすることができる。
読むこと(音読)	L1		内容が伝わるように、スピーチ原稿を英語らしく音読することができる。
読むこと(内容理解)	L1		英語で書かれたスピーチ原稿を読んで、その内容を読み取ることができる。
話すこと	L2		好きな人物、あこがれの人物について、友達に英語でインタビューできる。
聞くこと	L2		英語で話されているインタビューを聞いて、その内容や情報を聞き取ることができる。
読むこと(内容理解)	L2		情報誌の紹介記事形式で書かれた教科書本文を読んで、その内容を読み取ることができる。
話すこと	L3		出身地や興味を持っていることなどについて、身近な人に英語でインタビューすることができる。
書くこと	L3		インタビューの内容をもとにして、その人のプロフィール表を英語で書くことができる。
読むこと(内容理解)	L3		英語で書かれたインタビュー記事を読んで、その内容や情報を読み取ることができる。
読むこと(音読)	L4		きいている人に伝わるように、気持ちをこめて、物語を英語らしく音読することができる。
書くこと	L4		大切なことを伝えるメッセージを英語で書くことができる。
聞くこと	L4		英語のニュースを聞いて、その内容や情報を聞き取ることができる。
読むこと(内容理解)	L4		英語で書かれた物語を読んで、その内容を読み取ることができる。
話すこと	L5		日本について、英語で簡単に説明することができる。
書くこと	L5		説明のためのメモを英語で書くことができる。
読むこと(内容理解)	L5		英語で書かれた図鑑・事典などの説明文を読んで、その内容や情報を読み取ることができる。
話すこと	L6		自分が尊敬する人物について、英語でスピーチをすることができる。
読むこと(音読)	L6		スピーチ原稿を、相手に伝わるように気持ちをこめて、英語らしく音読することができる。
書くこと	L6		尊敬する人物について等、英語でスピーチ原稿を書くことができる。
読むこと(内容理解)	L6		英語で書かれた人物伝などを読んで、その内容を読み取ることができる。
話すこと	L7		身近な話題について、英語で考えてその場で話をすることができる。
読むこと(内容理解)	L7		英語で書かれた新聞のコラム記事(短い文)等を読んで、その内容や情報を読み取ることができる。
書くこと	L8		英文レターの様式にそって、英語で簡単な手紙を書くことができる。
読むこと(内容理解)	L8		英語で書かれた寄せ書きを読んで、その内容を読み取ることができる。
読むこと(内容理解)	LR1		英語で書かれた説明文の内容や要点を読み取ることができる。
読むこと(音読)	LR2		書き手の気持ちを考えて、その手記やエッセーを英語らしく音読することができる。
読むこと(内容理解)	LR2		英語で書かれた手記を読んで、話のあらすじや要点を読み取ることができる。
話すこと	WT1		英語で道をたずねたり、方向や道順を説明したりする道案内の会話をすることができる。
話すこと	WT2		英語で病状についてたずねたり、身体の具合について説明したりする会話をすることができる。
話すこと	WT3		英語で「~してくださいませんか」とていねいにお願いする会話をすることができる。
話すこと	WT4		英語で「~しませんか」と何かを提案する会話をすることができる。
話すこと	WT5		英語で「~しましょうか」と何かを申し出る会話をすることができる。
話すこと	WT6		英語で「~はいかがですか」と食べ物や飲み物をていねいにすすめる会話をすることができる。
話すこと	WT7		英語で「~してくださいませんか」とていねいに依頼する会話をすることができる。
話すこと	WT8		英語で相手と約束する会話をすることができる。

an-Do Statement for Higashi Junior High School Inawashiro, Fukushima, JAPAN Ver.2013						
жите	LEMBON	3 学年 (for 9 <sup>th</sup> Graders: K9 ) NEW Cl				
聞くこと	L2	□ 英語で話されているインタビューを聞いて、その内容や情報を聞き取ることができる。				
聞くこと	L4	□ 英語のニュースを聞いて、その内容や情報を聞き取ることができる。				
話すこと	L1	□ 自分の好きなことやものについて、英語で適切にスピーチすることができる。				
話すこと	L2	□ 好きな人物、あこがれの人物について、友達に英語でインタビューできる。				
話すこと	L3	□出身地や興味を持っていることなどについて、身近な人に英語でインタビューすることができる。				
話すこと	L5	□ 日本について、英語で簡単に説明することができる。				
話すこと	L6	□ 自分が尊敬する人物について、英語でスピーチをすることができる。				
話すこと	L7	□ 身近な話題について、英語で考えてその場で話をすることができる。				
話すこと	WT1	□英語で道をたずねたり、方向や道順を説明したりする道案内の会話をすることができる。				
話すこと	WT2	□英語で病状についてたずねたり、身体の具合について説明したりする会話をすることができる。				
話すこと	WT3	□英語で「~してくださいませんか」とていねいにお願いする会話をすることができる。				
話すこと	WT4	□ 英語で「~しませんか」と何かを提案する会話をすることができる。				
話すこと	WT5	□ 英語で「~しましょうか」と何かを申し出る会話をすることができる。				
話すこと	WT6	□英語で「~はいかがですか」と食べ物や飲み物をていねいにすすめる会話をすることができる。				
話すこと	WT7	□ 英語で「~してくださいませんか」とていねいに依頼する会話をすることができる。				
話すこと	WT8	□ 英語で相手と約束する会話をすることができる。				
読むこと(音読)	L1	□ 内容が伝わるように、スピーチ原稿を英語らしく音読することができる。				
読むこと(音読)	L4	口きいている人に伝わるように、気持ちをこめて、物語を英語らしく音読することができる。				
読むこと(音読)	L6	□スピーチ原稿を、相手に伝わるように気持ちをこめて、英語らしく音読することができる。				
読むこと(音読)	LR2	□ 書き手の気持ちを考えて、その手記やエッセーを英語らしく音読することができる。				
読むこと(内容理解)	L1	□ 英語で書かれたスピーチ原稿を読んで、その内容を読み取ることができる。				
読むこと(内容理解)	L2	□ 情報誌の紹介記事形式で書かれた教科書本文を読んで、その内容を読み取ることができる。				
読むこと(内容理解)	L3	□ 英語で書かれたインタビュー記事を読んで、その内容や情報を読み取ることができる。				
読むこと(内容理解)	L4	□ 英語で書かれた物語を読んで、その内容を読み取ることができる。				
読むこと(内容理解)	L5	□ 英語で書かれた図鑑・事典などの説明文を読んで、その内容や情報を読み取ることができる。				
読むこと(内容理解)	L6	□ 英語で書かれた人物伝などを読んで、その内容を読み取ることができる。				
読むこと(内容理解)	L7	□ 英語で書かれた新聞のコラム記事(短い文)等を読んで、その内容や情報を読み取ることができる。				
読むこと(内容理解)	L8	□ 英語で書かれた寄せ書きを読んで、その内容を読み取ることができる。				
読むこと(内容理解)	LR1	□ 英語で書かれた説明文の内容や要点を読み取ることができる。				
読むこと(内容理解)	LR2	□ 英語で書かれた手記を読んで、話のあらすじや要点を読み取ることができる。				
書くこと	L3	□ インタビューの内容をもとにして、その人のプロフィール表を英語で書くことができる。				
書くこと	L4	口 大切なことを伝えるメッセージを英語で書くことができる。				
書くこと	L5	□ 説明のためのメモを英語で書くことができる。				
書くこと	L6	□ 尊敬する人物について等、英語でスピーチ原稿を書くことができる。				
書くこと	L8	□ 英文レターの様式にそって、英語で簡単な手紙を書くことができる。				

※ 生徒から、「真ん中」の評価があった良いという提案を受けて、 CAN-DOリストは「6件法」から「5件法」に変更中。

		CHECK SHEET	date				• • /		
LESSON 3 P	vaku	O GOES OVERSEAS						_	
		出身地や興味を持っていることなどに ついて、身近な人に英語でインタ ビューすることができる。	6/16	1	2	3	4)	5	6
話すこと			/	1	2	3	4	5	6
話りこと			/	1	2	3	4	5	6
			/	1	2	3	4	5	6
		インタビューの内容をもとにして、その 人のプロフィール表を英語で書くこと ができる。	6/16	1	2	3	4	<b>(5</b> )	6
書くこと			/	1	2	3	4	5	6
#\CC			/	1	2	3	4	5	6
			/	1	2	3	4	5	6
		英語で書かれたインタビュー記事を読 んで、その内容や情報を読み取ること ができる。	7/3	1	2	3	4	(5)	6
<b>独力・こと/☆雰囲</b>	<b>2</b> )   -		7/8	1	2	3	4	<b>⑤</b>	6
就もこく内谷柱が	F/  L		/	1	2	3	4	5	6
			/	1	2	3	4	5	6

date	What more can you do?	
7/8	落語のことについて前より分かった。問いかりに対に答えられるようになっ	150
	他にも日本の文化を知った。海外に依えるとき、なかなか言葉で表むとか難しか	
/		
7		
1		

